

## ウエイトの改定について

ウエイトは、JGSS-2000 以来、「地域ブロック（6 区分）×市郡（2 区分）×男女（2 区分）×年齢階級（6 区分）」の 144 区分ごとに計算してきた。しかし、平成の大合併のため多くの町村が市になったことにより、ウエイトの算出において市郡別で区分することの意味が低下するとともに、回答者数が少ない区分でウエイトの大きさが安定しないという弊害が目立つようになった。このため、JGSS-2006 のウエイトを計算するに当たって、その計算方法について全面的な見直しを行うことにした。

見直しの結果、JGSS-2006 のウエイトは既に述べたとおりの方法で計算することにし、また、JGSS プロジェクトの第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトについても、同様な方法で計算した値に改定することにした。ウエイトの新しい作成方法及び改定の経緯は、次のとおりである。

## 1 JGSS-2005 データセットの推定用ウエイト変数【WEIGHT】の改定について

JGSS-2005 データセットの推定用ウエイト変数【WEIGHT】については、調査票 1 枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の 14 区分ごとに計算した値に改定した。なお、基準人口としては、「2005 年 10 月 1 日国勢調査」（総務省）の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウエイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2005 回答者数」}$$

付表 1 男女、年齢階級別ウエイト計算表—JGSS-2005

		人口（人）	回答者数	ウエイト
男	20-29	7,768,365	90	86,315
	30-39	9,166,607	125	73,333
	40-49	7,821,427	136	57,510
	50-59	9,383,638	187	50,180
	60-69	7,655,795	206	37,164
	70-79	5,274,602	137	38,501
	80-89	1,768,544	39	45,347
女	20-29	7,459,404	132	56,511
	30-39	8,943,847	167	53,556
	40-49	7,737,809	168	46,058
	50-59	9,514,613	214	44,461
	60-69	8,233,926	224	36,759
	70-79	6,580,185	146	45,070
	80-89	3,472,587	52	66,781

## 2 ウエイトの作成方法の改定に当たっての検討の経緯

- (1) 市郡の区分は、郡の人口が全体の 15%を下回るような状況になり、ウエイトを算出する目的で層化を行うことの意味は低下したことが指摘された。
- (2) また、これまでの区分の仕方だと、標本数が 0 又はごくわずかになる区分があり、そのためにウエイトが不自然に大きくなるなどの問題が生じていた。この問題は、市郡の区分を除くことである程度解決できるが、依然としてそのような事例が残ることが判明した。
- (3) このようなことから、市郡の区分と地域ブロックの 2 つの区分を除き、「男女×年齢階級<sup>\*</sup>」の区分だけでウエイトを作成することが提案された。  
<sup>\*</sup>年齢階級については、従来、標本数の関係で「70～89 歳」を一つの区分にまとめていたが、これを「70～79 歳」、「80～89 歳」の 2 つに区分することにした。その理由は、この 2 つの年齢層で回収率にかなりの差があることに示されているように、2 つの年齢層に分けることに層化の効果が見込まれること、及び、今後この年齢層の人口が増加し重要度が高まることである。
- (4) JGSS-2005 のデータについて実際に新しい方式でウエイトを計算し、それを用いて集計を行ってみたところ、付表 2 のとおり、従来のウエイトを用いた結果と大きな差は生じないことが確認できた。なお、地域ブロックで違いが大きくなっているのは、従来のウエイトが地域ブロックもウエイト作成の補助情報としていたからである。
- (5) 以上の検討に基づき、JGSS-2006 のウエイトの計算方法を「男女（2 区分）×年齢階級（7 区分）」の 14 区分ごとに計算する方式に変更した。
- (6) 同時に、第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトもこの方式で計算した値に切り替えることにした。

(松井 博)

付表2 推計方法（単純集計及び新旧ウエイト付集計）による構成比の比較—JGSS-2005

	単純集計	旧ウエイト	新ウエイト	参考値	
<b>地域ブロック【BLOCK】</b>					
北海道・東北	14.2	12.0	13.9	12.1	2006年10月国勢調査（総務省）
関東	26.9	32.9	27.4	32.7	
中部	23.1	18.4	22.9	18.3	
近畿	13.8	16.3	13.9	16.2	
中国・四国	10.2	9.2	10.0	9.2	
九州	11.9	11.3	11.9	11.4	
<b>男女【SEXA】</b>					
男	45.5	48.5	48.5	48.5	2005年10月国勢調査（総務省）
女	54.5	51.5	51.5	51.5	
<b>年齢【AGEB】</b>					
20～29歳	11.0	15.3	15.1	15.1	2005年10月国勢調査（総務省）
30～39	14.4	18.1	18.0	18.0	
40～49	15.0	15.5	15.4	15.4	
50～59	19.8	18.7	18.8	18.8	
60～69	21.3	15.6	15.8	15.8	
70～79	14.0	12.8	11.8	11.8	
80～89	4.5	4.0	5.2	5.2	
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>					
有配偶	72.8	69.3	69.4	64.0	2005年10月国勢調査（総務省）
離死別	11.8	10.9	11.1	13.0	
未婚	15.4	19.9	19.5	23.0	
<b>就業状態【XJOB1WK】， 【TP5UNEMP】</b>					
従業	60.6	63.7	63.8	60.2	2005年9月労働力調査（総務省） 注）参考値は、日本人以外及び 90歳以上の者を含む。
休業	1.0	1.1	1.1	1.0	
失業	1.4	1.9	1.7	2.6	
家事	22.6	20.6	20.7	16.3	
学生	0.7	1.1	1.0	2.0	
その他	13.6	11.7	11.8	17.9	
<b>生活の程度【OP5LEVK】</b>					
上	0.5	0.5	0.5	0.8	2006年10月国民生活に関する世 論調査（内閣府） 注）「わからない・無回答」は除 いて集計している。参考値 は、日本人の20歳以上の者。
中の上	9.6	10.0	9.8	9.1	
中の中	43.9	42.8	42.8	56.3	
中の下	36.8	38.1	37.6	26.1	
下	9.2	8.6	9.2	7.6	
<b>政治意識（保革5段階） 【OP5RADCA】</b>					
1：保守的	7.9	7.2	7.4	注）「無回答」は除いて集計している。	
2	20.5	20.4	20.3		
3	50.5	49.9	50.0		
4	16.4	17.5	17.4		
5：革新的	4.6	5.1	5.0		

注1) 「単純集計」はウエイトを用いないで集計した結果、「旧ウエイト」は「JGSS-2005 コードブック」で、「新ウエイト」は本書で説明しているウエイトで重み付けを行って集計した結果である。

2) 国勢調査のデータは、20～89歳の日本人人口である（国籍不詳及び年齢不詳人口の補正は行っていない）。「JGSS-2005 コードブック」に掲載されている値には日本人以外も含まれているので、若干差がある。

3) 「生活の程度」の質問文はJGSSと国民生活に関する世論調査で異なる。JGSSでは「かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどこに入ると思いますか」であり、国民生活に関する世論調査では「お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください」である。また、JGSSでは留置調査で尋ねられており、国民生活に関する世論調査では面接で尋ねられている。